

重症熱性血小板減少症候群（SFTS）について

2025 年（令和 7 年）7 月 23 日
長野県健康福祉部疾病・感染症対策課

SFTS とは

■ SFTS について

- ・ 重症熱性血小板減少症候群（Severe Fever with Thrombocytopenia Syndrome : SFTS）とは、主に病原体（SFTS ウイルス）を保有しているマダニに刺されることにより感染するダニ媒介感染症です。
- ・ マダニに刺されてから 6 日～2 週間後に症状が出現します。
- ・ 主な症状は発熱、消化器症状（嘔吐、下痢等）であり、重症例では死に至る可能性があります。（各種調査によると致死率は最大 30%程度とされています）

■ 発生状況について

- ・ SFTS の患者は西日本を中心に報告されていますが、徐々に感染確認地域が拡大しています。
- ・ 2025 年第 28 週までの今年の全国累計届出数は 110 件です。
- ・ 長野県内ではこれまでに患者発生の報告はありませんが、注意が必要です。

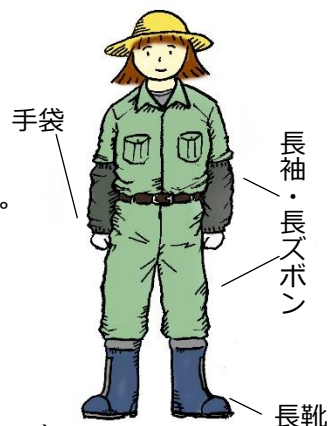
■ 感染経路

- ・ SFTS ウイルスを保有するマダニに刺されることで感染します。
- ・ SFTS ウイルスに感染し発症している動物（ペットの犬・猫等を含む）の体液に接触することで感染することもあります。
- ・ SFTS ウイルスに感染した患者の体液に直接触れる機会のあった医療従事者が感染した報告もあります。

予防方法

■ マダニに刺されないように注意しましょう

- ・ マダニは山林や草むら、藪、畑などに生息しており、春から秋にかけて活動が盛んになります。
- ・ 草むらや藪などに入る際は、長袖・長ズボン・足を完全に覆う靴等を着用し、肌の露出を少なくしましょう。（草刈りやキャンプなどの際にも注意が必要です）
- ・ マダニの付着を目視で確認しやすくするために、服は明るい色のものがお勧めです。
- ・ 虫よけ剤（ディート、イカリジン）を使用しましょう。
（※虫よけ剤はマダニの付着数を減少しますが、マダニの付着を完全に防ぐわけではありません）
- ・ 野外活動後はマダニを家の中に持ち込まないように屋外で上着や作業着を脱ぎましょう。
- ・ シャワーや入浴時にマダニに刺されていないか確認しましょう。



■ マダニに刺されたときの対応

- ・ マダニに刺された場合は、無理に引き抜こうとせず、医療機関を受診し処置してもらいましょう。
- ・ マダニに刺された後、数週間程度は体調の変化に注意し、発熱等の症状が現れた場合は、速やかに医療機関を受診しましょう。受診の際はマダニに刺されたことを伝えてください。

〔参考〕

「ダニの感染症に注意しましょう！」（長野県）<https://www.pref.nagano.lg.jp/shippei-kansen/kenko/kenko/kansensho/joho/dani.html>

「重症熱性血小板減少症候群（SFTS）について」（厚生労働省）<https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000169522.html>

「重症熱性血小板減少症候群（SFTS）」（国立健康危機管理研究機構）<https://id-info.jihs.go.jp/diseases/sa/sfts/index.html>